

YMCA NEWS 金沢青年

No.22 (2020 年 4 月号)

発行所: 金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見町タウンハイツ 201

TEL/FAX (076) 255-7782

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/index.html>

若き日に、あなたの造り主を心に刻め

金沢 YMCA 常務理事 山内 ミハル

私は伊勢市で生をうけ、戦中戦後の動乱期を三重県四日市市で過ごしていました。大学 3 年の夏、ある機会があってプロテスタントの教会の礼拝に参加しました。当時私の周りの学生たちは、あるものはマルクスやレーニンの思想に影響され学生運動に走る者、ニーチェに傾倒する者、文学に溺れる者、なかには学生結婚して学業を続けている先輩・後輩がいたり…。彼らの生き方は正しいとか、正しくないとか、賛同できるとかできないとかは別にして、彼らが自分の人生の在り方をしっかり見つめ、生き生きとしているその姿に比べ、私の人生の目的は何だろう、何のために、何に向かって生きていこうとしているのかわからなかったのです。さらに、私が所属していたサークル「児童文化研究会」の活動の中で、ある学生を傷つけて、いい気になっていた私を、先輩からやさしく諭されたことから、自己嫌悪に陥っていました。教会の門をくぐったのはそんな時でした。聖書を通して語られる牧師の説教に深く心を打たれ、こんな私でも神は許してください、そして愛してくださいと信じて、クリスマスに受洗させていただきました。初めて教会の門をくぐってから、4 か月しかたっていませんでした。



翌 4 年生の秋、伊勢湾台風に見舞われ、死を覚悟した私は、どんどん水かさが増してくるなかで、2 階に上がる階段の途中に座って、「御心(みこころ)ならば助けてください。そうすればこれからの人生はあなたのために捧げます」と、必死で祈ったのです。

台風被害の跡片付けで混乱の最中、北陸学院高校から牧師を通して「採用したい」との連絡が来ました。すでに三重県、愛知県の教員採用試験は合格しており、指導教官、家族、友人たち、誰もが私の金沢行きを反対しました。しかし、洗礼を受けたときの決意と、真っ暗な中で死を覚悟して「これからの人生をあなたのために捧げます」と神にした約束が私を金沢に招き、よき伴侶を与えられ、学院退職後も専門学校、保育園と 59 年間に及ぶ教育現場で働きの場を与えられたのだと信じています。

私が周囲の反対を押し切って、故郷四日市を後にするとき、「信仰によって、アブラハムは、受け継ぐべき地に出ていけとの召しをこうむった時、それに従い、行く先を知らないで出て行った」(ヘブル人への手紙 11 章 8 節)との御言葉(みことば)が私の背中を押してくれました。

旧約聖書のコヘレトの言葉に「若き日に、あなたの造り主を心に刻め。災いの日々がやって来て、『私に喜びがない』というよわいに近づかないうちに。」とあります。皆さんの青春時代が、どうか悔いのないものとなりますようにと祈ります。



伊勢湾台風で被害を受けた、愛知県半田市日の出町康衛町【愛知県提供】。1959(昭和 34)年 9 月 21 日、マリアナ諸島東海上で発生した台風 15 号(伊勢湾台風)は、中心気圧 895 ヘクトパスカルを記録、猛烈な勢力を維持しながら 26 日夕方に和歌山県に上陸、本州を縦断して日本海に抜けた。大雨と暴風、高潮などにより紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾岸では大きな被害を受け、特に愛知県では名古屋市や知多半島で大規模な浸水が発生、死者・行方不明者は 3300 人以上に達した。また、三重県、奈良県など被害は広範囲にわたり、全国での死者は 4697 人、行方不明者も 401 人に上った。(1959 年 09 月 27 日)【時事通信社】

北陸学院のゼミ栽培活動初年度を終えて

北陸学院大学 専任講師 福江 厚啓

2019 年度、子ども教育学科福江ゼミでは農園における栽培活動を実施。保育・生活科や総合的な学習、持続可能な開発のための教育(ESD/Education for Sustainable Development)を研究フィールドとしている小生としては、保育者や教員を目指す学生に、机上の学問にとどまらない感情を揺さぶる自然体験を通した学びの場がほしいと考えていた。そこに、朝倉秀之先生より農園のお話をいただき、渡りに船とばかりに飛びついたのが発端である。

5 月の連休前に土作りをし、連休明けには麓の「ほがらか村」まで苗を買い付けに行き、皆で植え付けた。夏野菜である各種トマトやキュウリ、ピーマンなどのほか、サンチュ、レタスといった葉野菜、そしてサツマイモを選んだ。結果から申し上げますと、梅雨に入るまで日々水やりに気をつけてはいたが、あとはほぼ放置に近かった。学生も、それほど時間に余裕があるわけではないのである。脇芽を放置されたトマトなど、ジャングルのようになりつつもなかなか立派に実を付けてくれたことは幸いであった。ゼミの時間は何度かサラダ記念日(?)になった。

秋のサツマイモ掘りは収穫の集大成であった。蔓を刈り取ると出てくるナメクジやムカデに悲鳴を上げつつ、なんとか「いも掘りで見慣れた土の見える状態」に至る。あとは、様々な大きさ・形のサツマイモを一輪車一杯に収穫することができ、皆大満足であった。穫れたイモは、ゼミで焼きいもパーティをして味わったほか、「スイーツ研究所」に提供し、第一幼稚園の子どもたちを招いてプチイベントを実施したり、「ミッション食育グループ」に提供したりもした。活動としての発展の可能性が大きいことを感じた。

自然豊かな三小牛キャンパスであるが、ただ環境としてあるだけでは、教育とは言えない。対象をかけがえのないものとして思い入れをもち、自分事として働きかけていくこと、その中で感情を豊かにしていく経験こそ、保育者や教師を目指す学生にとっても、子どもたちにとっても必要であると考えます。有形無形の「神様の恵み」を肌で感じる機会にあふれた「自然と人間との共存の体験」、そのような栽培・飼育の場づくりについて今後も実践的に研究を進めていきたい。



5 月 13 日 「ほがらか村」で野菜苗の買い出し



7 月 8 日 大きく育った夏野菜



10 月 23 日 サツマイモの大収穫



4 月 22 日 慣れない鍬使いで土作り



11 月 6 日 焼きいもをほおぼり、はじける笑顔

2013 年度金沢 YMCA 主催“たけのこ掘り体験”の報告

金沢 YMCA 理事 平口 哲夫

金沢 YMCA のニューズレターは 2013～2018 年度の期間、未発行のままとなっています。そこで、紙面に大きな空きが生じた場合、ニューズレター未発行の年度に開催された行事の中から少なくとも一つ選んで報告することにしました。今回は編集作業が遅れていることから、急遽、編集委員長が執筆することになりましたが、今後は各委員会の委員や行事参加会員にも執筆していただく予定です。

2013 年度行事のうち、まず“たけのこ掘り体験”を選んだ第一の理由は、4 月 29 日(祝日)に開催されることが多いにもかかわらず、諸般の事情で 2019 年度につづき 2020 年度も開催中止となったからです。また、第二の理由として、この“たけのこ掘り体験”は、元もと金沢犀川ワイズメンズクラブ(以下、金沢犀川クラブと略記、2019 年 6 月末解散)の特別例会“竹の子例会”として行われていたのを、金沢 YMCA の活動を盛り上げようと、2007 年度から金沢犀川クラブの特別例会を兼ねて金沢 YMCA 主催の行事として実施することにしたという経緯があるからです。

当時、金沢犀川クラブ会員だった川村孝治ワイズの粋な計らいにより、川村家所有の竹林(金沢市窪)で「春のたけのこほり」や「たけのこキャンプ」などと称する、小学生と保護者を対象とした野外活動として行なっていましたが、2012 年度からは北陸学院三小牛キャンパス内の竹林で開催することになりました。

さて、2013 年度に開催された“たけのこ掘り体験”については、金沢犀川クラブのブリテン 2013 年 5 月号に竹中丈晴ワイズが体験記を寄稿していますので、本文のみ一部変更して以下に転載いたします。

◆ 4 月“たけのこ掘り”体験記 ◆

竹中 丈晴

2013 年 4 月 29 日(祝・月)に北陸学院三小牛キャンパスの竹林で YMCA 主催“たけのこ掘り体験”が行われた。私は昨年初めての参加であったが、この経験を孫たちにさせてやりたいと思い、今年は家内と二人の孫を連れて参加させていただいた。

当日は天候に恵まれ、絶好のタケノコ掘り日和となった。準備担当者は 9:00、他は 10:00 に現地集合。我が犀川クラブから 10 名、金沢クラブから 3 名、YMCA より 3 名、北陸学院小学校から子どもたち 4 名と保護者の方 3 名、新しく北陸学院大学学長になられた Cunningham 氏が参加(総勢 23 名)。

YMCA の朝倉理事長より開会の祈りとお話のあと、川村ワイズよりタケノコ掘りのコツを教えてください、各自分散、それぞれタケノコ掘りに挑戦した。小学生から高齢の我々まで汗かき奮闘、素人には結構キツイ作業であった。今年のタケノコは裏年であまり生えていなかったが、それでも各自助け合って自分の食べる分くらいの収穫はあった。

お昼は澤瀬メネットさんが現場でタケノコ味噌汁を作って下さり、数澤ワイズの食前の祈りのあと、当日早朝から準備されたタケノコご飯、タケノコ煮物、ゼン

マイ煮物、漬物などをいただいた。適度な運動の後でもあり、ほとんどの方がおかわりをし、美味しいタケノコ料理に舌鼓を打った。

後片付けのあと全員自己紹介をし、最後に子どもたちの要望に応じて幸正金沢クラブ会長の指導のもと、足ジャンケン遊びをした。澄み切った快晴の青空の下でのタケノコ掘りを大いに満喫し、無事終了することができた。



開会式前に撮った集合写真



タケノコの掘方を説明する朝倉秀之理事長



タケノコ掘りの手本を示す川村孝治ワイズ



タケノコ料理を賞味する参加者一同



【2019 年度金沢 YMCA 理事会・評議員会】

2020 年 3 月 27 日(金) 午後 5 時半～7 時半、金沢市長土堀青少年交流センター 3 階 学習室3にて 2019 年度金沢 YMCA 理事会(第 7 回)・評議員会(第 4 回)を合同で開催。

今回の評議員会としての主な議題は、2020～2021 年度の理事・評議員・監事を選任することであり、その決議をふまえた結果は以下のとおりである。

理事 5 名:朝倉秀之、幸正一誠、田口昭典、平口哲夫、山内ミハル(全理事再任、任期 2020～2021 年度)。評議員 10 名:朝倉みゆき(田口昭典・宮本和幸評議員辞任に伴い任期 2020～2021 年度)、井川英二、伊藤仁信、数澤輝夫、北 肇夫、西 信之、八反順一郎、藤井辰男、三谷信三、宮本和幸(2019 年 5 月 18 日選任～2019 年度末辞任、後任が決まるまで職務遂行)、朝倉みゆき評議員が新任、他の評議員はすべて任期(2018～2021 年度)途中。監事:竹中丈晴、山野晋夫(任期 2020～2021 年度)。理事会・評議員会共通の主な議題として 2020 年度活動計画があり、以下のごとく委員会制で実施することが決まったが、委員は理事会で選任することが定款で定められているので、今後、適宜追加する。

①たけのこ掘り体験委員会:朝倉秀之(委員長)、井川英二、朝倉みゆき、②わいわい農園体験委員会:北 肇夫(委員長)、井川英二(副委員長)、③ソトゴハン～ひとり親家庭の絆プロジェクト～委員会:山内ミハル(委員長)、④広報委員会:平口哲夫(委員長)、朝倉秀之、山内ミハル、北 肇夫、⑤英会話レッスン委員会:朝倉秀之(委員長)、⑥ユースリーダー育成委員会:山内ミハル(委員長)、⑦腹話術講習会委員会:田口昭典(委員長)、朝倉秀之。なお、青団連(金沢市青少年団体連絡協議会)関係については、青団連理事の幸正一誠理事・北 肇夫評議員が担当。

【2020 年度第 1 回金沢 YMCA 理事会】

4 月 11 日(土)18:00～19:30 に金沢市長土堀青少年交流センターで開催の予定だったが、COVID-19 感染予防のためメールリストで代用することに。理事長:朝倉秀之、常務理事:山内ミハルなどの役員再任を決議(任期 2020～2021 年度)、4 月開催予定の「たけのこ掘り体験」は COVID-19 感染予防のため中止することに。この ML による理事会は進行中なので、その他の決議などについては次号で紹介する。

【YMCA ロゴについて】

YMCA ブランド 日本の YMCA は 1880 年に東京で始まり、多様な分野でパイオニアとしての働きを全国各地で展開。金沢 YMCA が属する日本 YMCA 同盟は、2017 年、YMCA ブランドコンセプトを取り決め、その旗印として新しいロゴ・スローガンを掲げている。

YMCA ヴィジョン ポジティブネットのある豊かな社会を創る。ポジティブネットとは、互いの存在や個性

を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのことである。

YMCA ヴァリュー したいことがみつきり、誰かとつながり、私もよくなる、かけがえのない場所。

YMCA パーソナリティ 心をひらき、わかち合い、前向きで、まわりをひきつける魅力を持つ。

YMCA ブランドロゴ 鳥が飛び立とうとする瞬間の姿を、アルファベットの Y が想起される形に重ね合わせ、右上



の赤い逆三角形には、YMCA 正章に記された「全人」の精神と、YMCA が約束するブランド価値「みつきり、つながる、よくなる」の両方が込められている。また、曲線と赤い色によって、生命感と、希望ある豊かな社会を実現して行こうという YMCA のポジティブな姿勢を示している。愛称“ポジティブ Y”。



YMCA 正章

【金沢 YMCA の会員・会費・寄付】

会員: 本会の目的に賛同する人は誰でも入会資格があります。入会申込書に必要事項を記し、会費を納入すれば会員になります。

会費: 維持会員は年会費 12,000 円、通常会員は年会費 6,000 円、学生会員は年会費 2,000 円、少年会員(18 歳未満)は年会費 1,000 円。

会費納入方法: 下記のいずれかの方法で。

- 郵便振替 加入者名: 金沢 YMCA
口座番号: 00790-8-56852
- 銀行の指定口座に振り込む
北國銀行 香林坊支店 104 普通預金
口座番号: 428491
口座名義: 一般財団法人金沢基督教青年会
理事長 朝倉秀之
- 現金で支払う

寄付: 会費と同様の方法でお寄せください。

★編集後記★ COVID-19 禍のさなか、金沢 YMCA も変則的な活動を余儀なくされています。公衆衛生的な観点からの物理的距離戦略が心理的な社会距離を拡大しないように祈ります。(H・T)

YMCA NEWS 金沢青年 No.22

編集委員: 平口哲夫(編集長) sophiruka@yahoo.co.jp

朝倉秀之・北 肇夫・山内ミハル

発行者・発行日: 金沢 YMCA・2020 年 4 月 30 日

発行所: 金沢 YMCA 事務所

〒920-0998 金沢市里見町 44-1-201

TEL/FAX 076-255-7782

asahide0927@gmail.com(朝倉)

